

# 阿蘇の文化的景観 あそ 根子岳南麓の草原景観 ねこだけなんろく

No.43-08

所在地：熊本県高森町 選定年月日：平成29年10月13日 面積：93.6ha 選定基準：一(二)

## (1) 概要

高森町は、中央火口丘の南東に位置し、阿蘇五岳(あそごがく)のうち山頂の凹凸が際立つ根子岳がよく見えるため町の象徴となっています。

南郷谷では、白川を中心として、両岸の河岸段丘を棚田及び段々畑、その南北を居住地として、白川の北側集落は中央火口丘、南側集落はカルデラ壁を草地として利用しています。

中央火口丘では緩斜面に広めの草地及び南郷檜(なんごうひ)の林地が広がる一方、外輪山では急斜面が多いため小規模な草地が多くあります。

南郷檜は、昭和30年頃に高森町にて育成方法が確認されたヒノキの優良品種です。江戸期に藩の御用木として植えられ、同様な方法で育てられたヒノキのある神社には、巨木となっているものが認められます。

高森・色見(しきみ)地区は、江戸時代には熊本藩の行政単位であった高森手永(てなが)の中心地として栄え、現在も熊本市街地から高千穂地方へ通じる交通の要所です。現在、国鉄廃線後は第三セクター南阿蘇鉄道の終点となっており、駅周辺では南郷谷の豊富な湧水を利用した酒蔵等がある商店街が広がっています。

根子岳南麓の草原景観は、阿蘇の文化的景観を構成する要素として重要です。

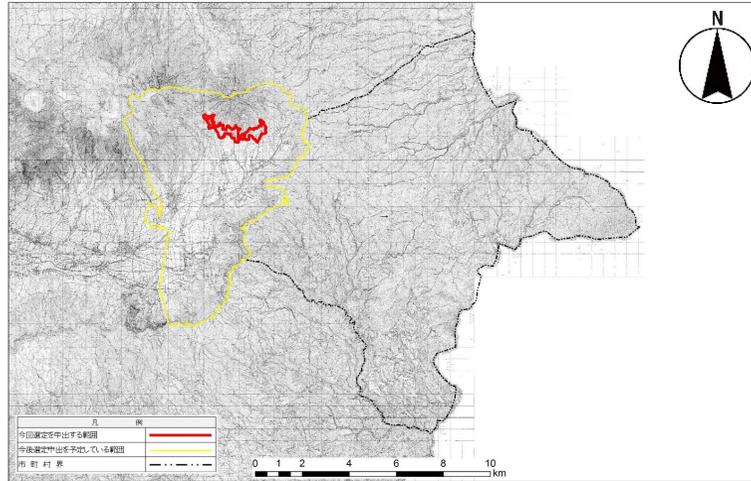


草原



野焼き

## （２）選定範囲



重要文化的景観の選定範囲

- 重要な構成要素：2件
- 国指定等文化財：高森のにわか（無形民俗文化財、記録選択）、阿蘇南郷檜の森（ふるさと文化財の森）

## （３）選定による効果

牧野組合の高齢化、担い手不足のために草原の維持・保全が課題となっています。高森町では、牧野に火を入れる火引き、延焼を防ぐ火消しに参加した個人に助成金を支給する制度を始めています。

また、阿蘇の草原について、理解を深めてもらうため、当町の小学生らが半年にわたり、阿蘇の草原の成り立ちと保全について学び、野焼きを体験しました。



放牧の風景 中原牧野

## （４）保存活用計画などの基礎情報

- 阿蘇の文化的景観保存調査報告書（平成28年3月、阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村）
- 阿蘇の文化的景観 保存計画（平成29年3月、高森町）

阿蘇の文化的景観	阿蘇北外輪山及び中央火口丘群の草原景観	(熊本県阿蘇市)	No.43-04
阿蘇の文化的景観	南小国町西部の草原及び森林景観	(熊本県南小国町)	No.43-05
阿蘇の文化的景観	湧蓋山麓の草原景観	(熊本県小国町)	No.43-06
阿蘇の文化的景観	産山村の農村景観	(熊本県産山村)	No.43-07
阿蘇の文化的景観	根子岳南麓の草原景観	(熊本県高森町)	No.43-08
阿蘇の文化的景観	阿蘇山南西部の草原及び森林景観	(熊本県南阿蘇村)	No.43-09
阿蘇の文化的景観	阿蘇外輪山西部の草原景観	(熊本県西原村)	No.43-10

## (5) 活用事例

### 事例43-04~10 ①

### 広大な草原の維持のため行動する人づくり「阿蘇グリーンストック」

#### ●住民や団体等による取り組み

阿蘇の草原は、太古から野焼き・採草・放牧と人々の営みによって維持されてきました。しかし近年、高齢化や担い手不足により、草原の維持が困難となってきました。

公益財団法人阿蘇グリーンストックでは、阿蘇の豊かな緑を後世へ引き継ぐことを基本理念として様々な取り組みを行っています。美しい阿蘇の草原を後世に残すための「野焼き支援ボランティア」は、講義と実技を交えた初心者研修会を行った上で、野焼き前の防火帯作りである輪地(わち)切り・輪地焼きや野焼きなどへ派遣し、地元の方々と連携し草原保全に取り組んでいます。

また多くの方々へ阿蘇の草原の美しさや価値を伝え、一緒に守りたいという思いを増すためにパネル展やシンポジウムなど普及・啓発活動にも力を入れています。

ほかにも阿蘇の草原を身近に感じてもらうと県内外の学生に向けた環境学習やファームステイなど体験プログラムも実施しています。

今後も多くの方に阿蘇の草原について伝え、一緒に考え行動できる取り組みを推進していきます。



あか牛を食べながら阿蘇の草原を考える



輪地切りの様子



野焼きの様子



講演の様子

団体等情報：公益財団法人阿蘇グリーンストック <https://www.asogreenstock.com/>

① 地域内での  
魅力の共有

② 活性化の  
共有

③ 地域外への  
広報

④ 魅力を引き  
出す開発

⑤ 財源と運用  
確保

⑥ 人づくり